

平成18年度パートナー誌調査票(様式)

SPARC JAPANパートナー誌 調査票	
選定誌タイトル	
学協会等名	
担当者/記入者名 (メールアドレス)	
1.電子化の現状(出版時点から電子的に行われているカレント分)	
(1)巻号,年月次など	
(2)プラットフォーム (インターネットで配信するときに利用しているサーバ等およびそのURLを明記)	
(3)作成しているファイル・フォーマット (PDF,HTML,XML等の形式を本文、メタデータそれぞれ明記)	
2.バックナンバーの電子化の状況(項番1以外で電子化しているもの)	
(1)巻号,年月次など	
(2)プラットフォーム (インターネットで配信するときに利用しているサーバ等およびそのURLを明記)	
(3)ファイル・フォーマット (PDF,HTML,XML等の形式を本文、メタデータそれぞれ明記)	
(4)カレント分との関係 (同一プラットフォームからの提供,あるいは,横断検索が可能かどうかなど)	
3.出版体制	
(1)利用している印刷会社 (2000年以降,複数ある場合には何年何月から何年何月まで利用したかを明記)	
(2)編集要員 (2000年以降,編集担当者の人数の経年変化を明記)	
(3)編集委員会 (2000年以降,編集委員会の体制(人数,委員構成など)の経年変化を明記)	
(4)英文校閲 (2000年以降,英文校閲体制の経年変化を明記)	
(5)その他品質向上のための取組 (2000年以降,英文校閲以外の品質向上のための取組について,その有無および内容について明記)	
(6)投稿数・掲載数 (2000年以降,投稿者の国・地域別での投稿数,および全体の掲載数の経年変化を明記。)	
(7)電子投稿・査読システムの状況 (導入の有無及び時期,使用システムなど)	
(8)著者への投稿支援などの取組 (2000年以降,英文校閲の支援,査読から掲載時までの短縮など,提供プラットフォームの利用案内など)	
4.契約の状況	
(1)契約条件 (電子ジャーナルの契約条件を機関,個人の場合それぞれ明記。このほか,紙媒体のジャーナルの購読との関係について明記。)	

## 平成18年度パートナー誌調査票(様式)

<b>(2) 販売実績</b> <small>(2000年以降。国内・海外の各機関、個人との契約数の経年変化を紙媒体・電子媒体それぞれ明記)</small>	
<b>(3) 販売促進活動</b> <small>(2000年以降。代理店契約等の相手先・時期などを明記)</small>	
<b>(4) 販売促進活動</b> <small>(2000年以降。海外プラットフォームの利用交渉等の実績・時期を明記)</small>	
<b>(5) 販売要員</b> <small>(2000年以降。販売体制の経年変化を明記)</small>	
<b>(6) 抜刷販売数</b> <small>(2000年以降。抜刷販売数の経年変化を明記)</small>	
<b>(7) 寄贈数</b> <small>(2000年以降。国内・海外の各機関への寄贈数の経年変化を明記)</small>	
<b>5.購読者層拡大への改善(オープンアクセス化、機関リポジトリへの対応方針など)</b> <small>すでに、オープンアクセス誌(J-STAGE・学会からの直接提供)の場合は、その継続性への考え方を、それ以外の場合は、機関リポジトリへの対応方針(可否、可とする場合の条件など)を記入してください。</small>	
<b>6.コンソーシアム契約への対応</b>	
<b>(1) コンソーシアム契約の有無</b>	
<b>(2) コンソーシアム契約による優遇条件等</b>	
<b>(3) 価格体系</b>	
<b>(4) パッケージ化</b>	
<b>(5) 購読規模による契約区分の有無</b>	
<b>(6) 安定供給のための対応策</b> <small>(バックアップ体制、提供体制の二重化など)</small>	
<b>(7) 契約書をはじめとする、会計・法令に関する整備</b>	
<b>(8) 利用統計</b> <small>(ICOLC、COUNTERへの対応など)</small>	
<b>7.利用者・図書館向けのサービス、利用状況</b>	
<b>(1) 学外者による利用の条件</b> <small>(大学間の相互協力(複写、図書の貸借)、学外者来館時の利用可否など、利用者の範囲、利用条件に関する整備など)</small>	
<b>(2) その他提供サービス</b> <small>(アラート機能、アーリー・リリースなど)</small>	
<b>(3) その他提供サービス</b> <small>(DOI(デジタル・オブジェクト識別子)付与の有無、採録対象となっている検索エンジン、データベース(Web of Science, Google Scholar, Scirus等)をそれぞれ明記)</small>	
<b>(4) 利用統計</b> <small>(2000年以降。アクセス数、検索件数、ダウンロード件数(データ種別:PDF、HTML等)などについて、国内・海外別に、経年変化を明記)</small>	